

# 見て、聞いて、体験しよう！

## 市民活動センターのイベント・講座案内

### プチイベント

市民活動センターでは、さまざまな市民活動団体の共催によりイベントを開催します。

日時	場所	内容	定員	参加費
11月21日(日) 10:30~11:30	安桜ふれあいプラザ	ベビーマッサージ(乳幼児向け) 講師:三嶋久美子さん	親子10組	1組 300円
11月28日(日) 10:30~11:30		スキンシップたいむ(乳幼児向け) 講師:小林亜弓さん	親子8組	1組 200円
11月28日(日) 10:30~11:30		心と体をほぐすストレッチ&ヨーガ (女性向け) 講師:沖村幸代さん	10人	1人 200円
12月6日(月) 10:30~12:00		美しい調べにのって親子でアルパ演奏を楽しもう 演奏:安田葉子さん	30人	無料

### 『食を核としたまちづくり ~コミュニティ・レストランでまちのたまり場を~』

今、コミュニティ・レストランの輪が全国に広がっています。コミュニティ・レストランは「楽しく働き、おいしく食べる、くつろぎの場」として高齢者やママたちの人気を集めています。

食を通じたコミュニティ再生の取組みとしてコミュニティ・レストランが注目されています。その魅力に触れ、私たちの地域における可能性についてみんなで考えてみよう！

**日時** 11月27日(土) 13:30~15:30

**講師** 世古一穂さん(特定非営利活動法人 NPO 研修・情報センター代表理事、コミレスネットワーク全国代表、元金沢大学大学院教授)

**場所** わかくさ・プラザ「学習情報館2階・ギャラリー」

**定員** 40人(入場無料)

◆申込先 市民活動センター ☎24-7772 ホームページ <http://www.seki-siminkatsudo.com/>

### 広瀬惟然300回忌特別連載④

### 「広瀬惟然300回忌俳句大会の報告」

去る8月22日、広瀬惟然300回忌の法要が、東日吉町の香積寺でつつましやかに営まれた。香積寺は弁慶庵の本寺にあたり、惟然と妻の戒名(安心唯然居士・孤峯妙文信尼)が刻まれた位牌が安置されている。午前9時より、樺山舜亮住職の読経が始まり、集まった数十人の俳人や惟然ファンが次々と焼香をし、往時の惟然を偲んだ。続いて、広瀬惟然300回忌記念俳句大会委員長の清水青風が、出席者による惟然への俳句を読み上げた。そして、筆者が「関が生んだ広瀬惟然」と題し、関村が中世から栄え、文化水準が高かったこと、芭蕉と惟然の出会い、入門後のエピソード、乞食行脚などについて講演をし、最後に「風羅念仏」を聴いた。次いで午前10時より文化会館にて記念俳句大会が和やかに開かれた。

#### 【広瀬惟然300回忌 俳句大会入賞句】

惟然大賞	行く夏の惟然手擦れの七器かな	林 享子
関市長賞	それと知る色なき風も人の死後	古川 静子
関市教育長賞	笠塚や三百年の蟬時雨	木戸 道子
秀逸	冬瓜のごろりと惟然寝返りす	沢木 美子
	夏木立ことに笠塚地に低し	永吉 千里
	流れまだ荒瀬を知らず夏薊	柴田 たつ
	潤れ知らぬ産湯の井戸や青楓	深尾 望子
	新涼や葉擦れの音も産湯井も	鈴木 信子
	古茶の香の惟然遺愛の湯呑かな	平田 逸子
	町なかに惟然が井戸や地藏盆	交告 武
	山の端にけだるき色を早月	長沼 咲子
	花茗荷明かりに仰ぐ惟然句碑	西田とし子
	敗戦日母に醬の匂ひして	後藤 紀夫
	草庵の七器の暮し秋の風	岩田 一仙
	荒草に弁慶庵の昼ちろろ	辻 房子
	笠塚へ一日一花沙羅の花	土屋美也子
	青竹を透きて寺ある大暑かな	船戸 成良
	銀河の尾呑んで海指す大河かな	亀山 幸助

なお、参加者全員に、木製の短冊掛けが記念品として渡された。

(惟然研究者・俳人 沢木美子)

広瀬惟然300回忌俳句大会実行委員会 事務局 文化課 (☎246455)

◎史話には諸説あります。また、紙面の都合上、表現・表記が簡略化される場合があります。

【訂正】広報せき8月15日号と9月15日号の記事で誤りがありましたのでおわびして訂正します。

・8月15日号10ページ【誤】広瀬久兵衛 ↓【正】広瀬九兵衛

・9月15日号8ページ【誤】貞享5年(1608年) ↓【正】貞享5年(1688年)

